

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アルプス技研第2ビル	階数	地上8F
建設地	相模原市緑区西橋本一丁目1926番38外	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	665 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年9月14日
敷地面積	1,539 m ²	作成者	工藤建設(株)一級建築士事務所
建築面積	431 m ²	確認日	-
延床面積	2,994 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 高断熱性能のノックを採用している。		
Q1 室内環境 遮音性能の高いサッシを採用するなど、音環境に配慮している。	Q2 サービス性能 補修必要間隔の長い外壁仕上材、配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) -
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル フリーアクセスフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。また、燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される